

アンケート 進歩制度と魅力あるプログラム

アンケート集計結果 (1999.10)

1、2. 上進の時期と中3の扱い

| 団 | 1 | 3 | 5 | 6 | 9 | 10 | 13 | 14 |
|-------|---------------|--------------|-------------|------------|------------|--------------|-----|------------|
| 上進の時期 | 12月CS 9月VS | 4月CS 9月VS | 9月 | 12月 | 10月 | 3月CS 不定VS | 12月 | 4(9)月 |
| 中3の扱い | 夏まで 班長 | 4月か ら隊付 | 4月から 上級班 | 9月か ら隊付 | 班長 (上班) | - | 休隊 | 班長 (上班) |

3. スカウトの進級状況

| 団 | 1 | 3 | 5 | 6 | 9 | 10 | 13 | 14 |
|----|------|------|-------|-----|------|------|------|------|
| 小5 | --- | --- | ス15初7 | --- | 初2 | --- | --- | --- |
| 小6 | 初1 | 0 | ス3初7 | 初5 | 初5二2 | 初4 | 初4 | 初3 |
| 中1 | 0 | 初1二1 | 初10二5 | 二3 | 0 | 初2二1 | 二3 | 初6二1 |
| 中2 | 初1二3 | 0 | 初10二4 | 二1 | —2 | 二2—1 | 0 | 二2 |
| 中3 | --- | 0 | --- | 0 | --- | 菊1 | 二2—1 | 二2—1 |

*注 ス: ボーイスカウト(見習い) 初: 初級、二: 2級、一: 1級、菊: 菊スカウト

4. 進歩指導において気をつけていること

| 団 | 内容 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 基本をマスターするように指導している。 |
| 3 | スカウトのやりやすいものからチェックするようにしている。 |
| 5 | 本人の意思による集会後の進歩を基本にしています。プログラムの中(集会)での、進歩はメイン。進級に関する個人の考え方を理解する。(進級に関しての考え方の個人差はあります) |
| 6 | 班長の技能が十分でないので、班の活性化のため班長技能の向上。 |
| 9 | スカウトがこれから社会人として身に付けなければならない基本ができるように気をついていること。野外活動や日常生活で自分で健康管理ができるように気をついていること。野外活動で必要な技能が習得できるように気をついていること。社会奉仕に自ら進んで参加し、できるように気をついている。 |
| 10 | (1)結索(ロープ) (2)読図(コンパス) (3)炊事(火おこし) (4)野営(テントクラフト)。隊集会では(1)(2)、ハイキングでは(2)(3)、キャンプでは(3)(4)を課題としたプログラムを作成。 |
| 13 | 楽しんで覚える。なるべく役立つことを。 |
| 14 | 自主性を重んじる。 |

分析

- スカウトの進級状況は団による格差が大きい。ある程度、地区としての基準の統一が必要かもしれない。
- 隊集会では進歩指導を取り入れているところが多い。

5. プログラム年度

| 団 | 1 | 3 | 5 | 6 | 9 | 10 | 13 | 14 |
|----|----|----|-------|-----|-----|----|-----|----|
| 開始 | 9月 | 4月 | *4~9月 | 1月 | 10月 | 4月 | 1月 | 4月 |
| 終了 | 8月 | 3月 | 10~3月 | 12月 | 9月 | 3月 | 12月 | 3月 |

* 1年を2期に分ける。

6. 年間プログラムを立てる上で気をつけていること

| 団 | 内容 |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | スカウトによる立案。 |
| 3 | スカウトが楽しめることに気をつけています。 |
| 5 | 年間では予定が立てにくいので、春キャンプ、夏キャンプを中心に上半期、下半期で予定。(3月:春キャンプ、8月:夏キャンプ) |
| 6 | 進級、野外プログラム。 |
| 9 | プログラムはスカウトが進級するために、各スカウトが進級に向かって目標が立てられるようなプログラムになるように心がけている。プログラムがスカウトの進歩に役立つよう、楽しいスカウト活動ができるように気をつけています。 |
| 10 | 1年で1進級できるカリキュラムと、基本技能習得の春キャンプ、応用技能の夏キャンプを柱にした年間プログラムを作成。 |
| 13 | マンネリにならないよう。 |
| 14 | ダイナミックなプログラム。 |

7. 9 - 10月の活動

| 団 | 9月 | 10月 |
|----|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 1 | 「？」, 5隊集会, 15スカウトの日, 26隊集会 | 「社会奉仕」, 3共同募金, 17ふるさと祭り奉仕 |
| 3 | 「結索」, 15スカウトの日, 19隊集会 | 「追跡」, 17隊集会 |
| 5 | 「奉仕」, 11団上進式, 15スカウトの日, 19C B Sの日, 26奉仕(隊集会) | 「秋祭り」, 1赤い羽根, 3新入歓迎会, 16-17地区G B T, 24隊集会, 31教会秋祭り |
| 6 | 「読図」, 5隊集会, 19班集会, 26隊集会 | 「救急」, 1赤い羽根, 9班集会, 24隊集会 |
| 9 | 「基本に返って」, 15上進説明会, 15スカウトの日 | 「基礎訓練」, 1赤い羽根, 10-11隊キャンプ(基本、結索、野外料理), 24上進入隊式 |
| 10 | 「進路を決めるのは俺だ(読図)」, 5隊集会, 11隊集会, 15スカウトの日, 26技能講習 | 「同左(継続)」, 1赤い羽根, 2隊集会, 17町会奉仕, 24隊ハイキング |
| 13 | ? | 「奉仕」, 1赤い羽根, 3芋煮会, 16-17地区G B T, 24釣り |
| 14 | 「自然の恵み」, 15スカウトの日, 26釣り | 「奉仕」, 1赤い羽根, 16-17地区G B T, 23班集会, 24 B V S合同ハイキング, 30班集会, 31ウォークラリー |

「」内は月間テーマ、数字は日

分析

- 班集会を定期的にやっているのは6, 14団のみ。
- 隊のG B訓練はどうしているのか。

8. スカウトにとって魅力あるプログラムとは

| 団 | 内容 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | スカウト自身による立案したプログラムの実施。 |
| 3 | スキーや海水浴、釣りなど普段あまりする機会のないことが魅力なのではないかと思います。 |
| 5 | いつも副長たちと話していることです。スカウトの考えを聞きながら考えているのですが、プログラムで出席の人数の差はあると思います。自分は、自分たちが楽しめるプログラム、自分たちが楽しめないとスカウトも楽しめないと考えています。 |
| 6 | スカウト技能の向上により、ステップアップしたプログラムが実施できる。 |
| 9 | スカウトが明るく、楽しく、元気に活動できるようなプログラムだと思います。我々リーダーが自己満足のために無理矢理やらせるのではなく、スカウト自ら率先して活動できるようなプログラムだと思います。 |
| 10 | 自分の能力で習得した技能を実施できるプログラム、または習得できそうな技能講習プログラム。 |
| 13 | 好奇心をくすぐるもの。 |
| 14 | 活動的、やったことない、学校ではできない(ダイナミック) 自分たちで企画する。 |

9. プログラムを立案する上で困っていることなど

| 団 | 内容 |
|----|-----------------------------|
| 1 | 班対抗プログラムが実施できない。 |
| 3 | 人数によってプログラムの内容が決まってくる。 |
| 5 | 半期での各月プログラム担当副長(6人)で6ヶ月を計画。 |
| 6 | |
| 9 | |
| 10 | 人数が少ないため対抗心(競争心、向上心)が育まれない。 |
| 13 | 人数が集まらないので競い合えない。 |
| 14 | 班長訓練がなかなかできない。進級に結びつけるプロ。 |

分析

- 1, 14団ではスカウトが自分たちでプログラムを企画立案するようにしている。
- 人数が少ないと班対抗、競争ができない。

このアンケート集計は、1999年10月に配布し、11月までに得た8個団の回答を元にしました。

アンケート：進歩制度と魅力あるプログラム（1999.10）：渋谷地区BS部門

回答者：渋谷_____団・隊長_____。

1. 上進の時期は何月ですか。

C S B S : ___月、 B S V S : ___月

2. 中3はどのような扱いですか（班長はいつ頃まで。上級班など）

3. 現在のスカウトの進級状況はどのようなものでしょうか。

小5：___名中：スカウト___名、初級___名

小6：___名中：スカウト___名、初級___名、2級___名

中1：___名中：スカウト___名、初級___名、2級___名、1級___名

中2：___名中：スカウト___名、初級___名、2級___名、1級___名、菊___名

中3：___名中：スカウト___名、初級___名、2級___名、1級___名、菊___名

4. スカウトの進歩指導において、どのようなことに気をつけていますか。

5. プログラムの年度は何月から何月までですか。

___月 ___月

6. 年間プログラムを立てる上でどのようなことに気をつけていますか。

7. この9-10月はどのような活動をしましたか。

例：9月：テーマ「結索」 5日隊集会、12日班集会、15日スカウトの日、19日隊集会、26日休み など。

9月：テーマ

10月：テーマ

8. スカウトにとって魅力あるプログラムとはどのようなものでしょうか。

9. その他、プログラムを立案する上で困っていることなど何でも書いて下さい。

今年の年間プログラムがあったらFAXで送って下さい(03-3715-3072)。

ご協力有り難うございました。
